

家規の木の記

大槻玄津
自筆稿本

重文
洋学文庫
文庫8
A 20



榎の木の記

18
72

家
規
の
本
乃
記

大槻文庫

日記。云代定派。延平式。規の
 係己一換致。代氏。龍のうら。

○字書。括作弓材。下弓の弓書。弓。弓作三。
 龍龜手鑑。龍龜手鑑云。規堪。

大規文庫藏



家け苗みょう規ぎ木のきの記

龍龜手鑑規木名堪作弓材也

唐韻 規木名堪作弓 貝原振軒和蘭系三

玉篇 規 固 吉 雖 切 木 名 作 弓 材 其具部 規弓

字彙 規 居 烏 切 音 規 子 之 木 名 堪 作 弓 材

江陰縣志 規 質 堅 而 勁 多 葉 繁 陰 人 家

門巷多樹之

正字通 規 古 威 切 音 規 梨 規 附 見 前

○日記云代定保。延壽式。規のり
 ○~~規~~保己一換授。及代。規のり

○字書。括作弓材。下。弓のり。書。弓のり。
 規。字。弓。材。下。弓のり。書。弓のり。
 規。字。弓。材。下。弓のり。書。弓のり。

大規文庫藏



弓材。下。弓のり。書。弓のり。

唐韻

規 木名堪作弓

貝原振軒和爾雅第廿
 其具部 規弓
 龍宮龍子 鑑云 規堪

玉篇

規 因 吉 雖 切 木 名 作 弓 材

字彙

規 居 烏 切 音 規 弓 木 名 堪 作 弓 材

江陰縣志

規 質 堅 而 勁 多 葉 繁 陰 人 家

門巷多樹之

正字通

規 古 威 切 音 規 梲 規 附 見 前

梣通雅

梣注

徐盈切音尋說文書皮木或曰木
似檀葉細無花實根似槐取皮水漬
之色碧石一名石檀本草秦皮一名梣木
除目青皮葉煮湯洗傷效本作梣
皮俗謗為秦皮 按此註不審
陶弘景注秦皮云俗云是樊梣皮而水漬
以和墨

康熙字典

梣類篇一曰樊梣木皮水漬如

墨書之不脫

淵函

木部魚梣

石

規木名甚乍

規

居階切列衣帛為衣

出何東虎関師鍊聚分韻略

朱

一

梣通雅

梣注

徐盈切音尋說文書皮木或曰木
似檀葉細無花實根似槐取皮水漬
之色碧石一名石檀本草秦皮一名梣木
除目青皮葉煮湯洗傷效本作梣
皮俗謗為秦皮按此註不審
陶弘景注秦皮云俗云是樊梣皮而水漬
以和墨

康熙字典

梣類篇一曰樊梣木皮水漬如

墨書之不脫

淵函

木部無梣

品字箋

梣木名堪作弓

佩文韻府

梣無註

字鏡觀豆支又加太义弥

種名抄

傳

類聚

梣

唐韻云梣音規木名陸作弓也

和名

豆木乃木

大和本草

槻ハ葉モ木理モ檫ケヤキ類槻ノ一ニ似タリ

葉ヲ見テハ介ナカタシ只其木理ヲニテワカツ一類別物ナリ葉ハ枸栗アナノ木ニモ似タリ古ハハ槻ニテ弓ヲ作シリ漢土ト同シマユニツキユニト云フアリ

伊勢貞丈弓材考

収在四草中

弓材ト云ハ弓ノ材

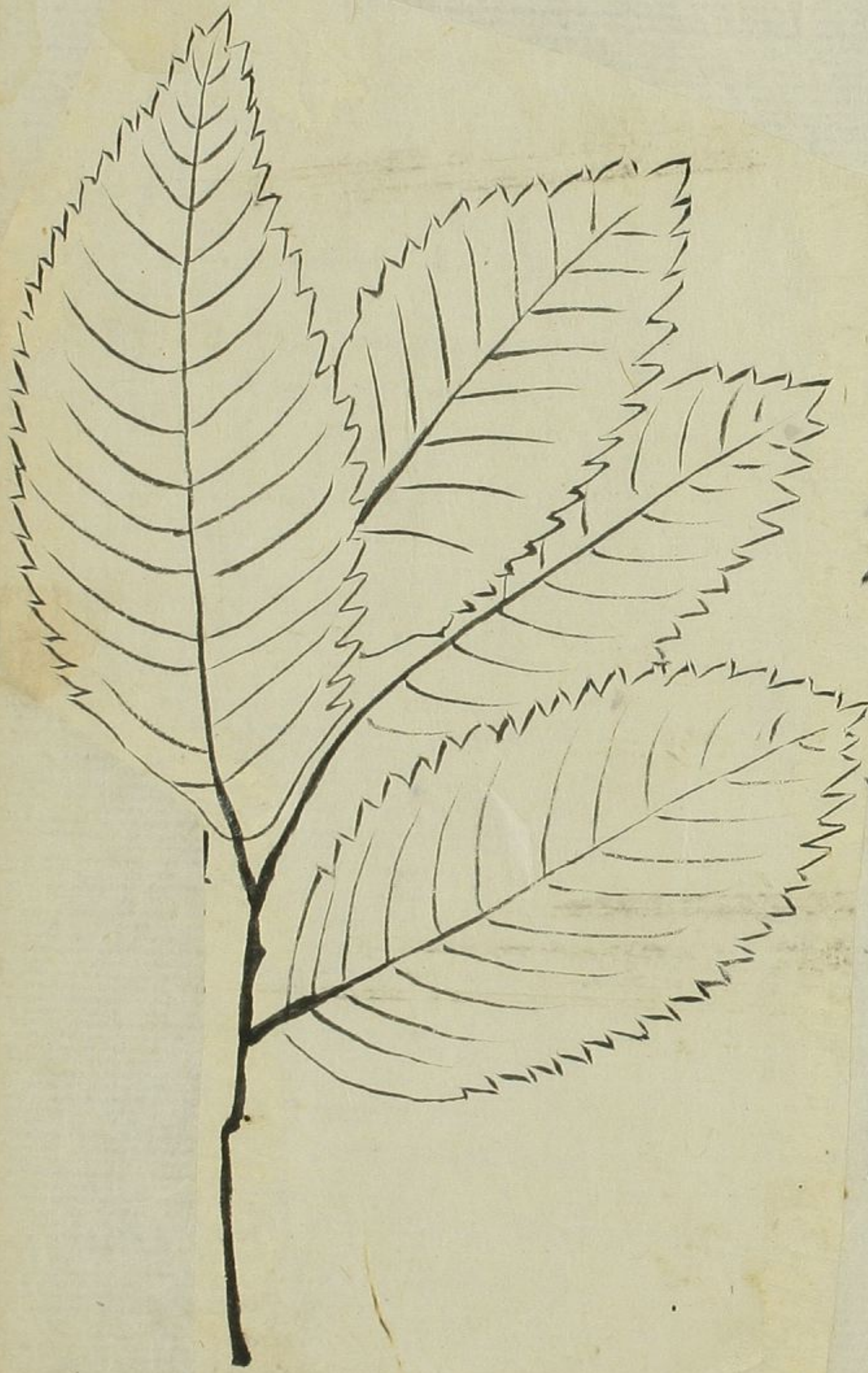
本ツギ方ツギ檀ツギ弓ツギ槻ツギ弓ツギ梓ツギ弓ツギ柘ツギ弓ツギ等國史ツギハ其古書ツギヨスツギトツギ皆丸木ツギ弓ツギナリツギレツギ其ツギ木ツギの名ツギ或ツギハ何ツギ弓ツギトツギ稱ツギスツギルツギガツギ丸木ツギ弓ツギナリツギトツギ云ツギフツギ

もがくぬやぬらひの却てあふらふらひをゆく
ねしきりか 檀槻梓柘を其木の性なり
ハニ 柘のそまを 是は弓材と定り 今も 継ぎ
上は 柘のそまを 用はれども 木行と今もあつて
けしき物なれハ上は 柘のそまを 用はれども 木行と
射る時のそまの 今も 又丸木弓ハ今も 用はれども
柘のそまを 用はれども 柘のそまを 用はれども 甲冑を造る
使はれ今も 柘のそまを 用はれども 柘のそまを 用はれども 柘のそまを 用はれども

少と撰を又能見知りし人をも尋の同ひを
梅と目をもてそは所より其たよるも也
榎弓 日本紀三代實錄延喜式よる
日本紀 菟區由彌梅日本紀神功皇后紀
菟區喻孫作ルと云
其代釋 日本紀よ榎弓かもこつてきく人の
言をね通ひるゆはなをほくもいひるなり
太皇紀かきよほくはる 是 榎の本を削るなり
ろと云いそふの事なり 榎樹と昔やるる老人のいひに榎けやいとい

んそけくし能似る也身本と花も
とくしとちりなり物れも喜ぶといふは
たをの附けやも此をちあるの如き也
うらそけくし中なるる榎の葉は太皇
たのめりて花のまゝも中なるる
かしそ榎けやもあんなけかりし
榎の葉は古き榎
又相模玉大山の松人
のいひに榎けやみのことなり

榧枝葉圖



又同物家集修理火丈顯季
窠中より少くして榧の本のつやぬ葉の枝をとりぬ

下
見せけし物とて皮をとり身を削き
見せけたる本は本理量を通りしをさうさ
初らむる榧の葉を通りしを本理を榧
かみたる葉をとりかきけりしは本理は
そとて強まると農氏御紙の柄
榧の葉はしを榧の葉をとりて茶葉
十越る前中納言定家
本
かみとせしは茶葉の枝
茶葉の榧の枝

規

あややがるのやーろのいひつまい
ひあるしきかぐれつまいし
万葉十一あり齋規とんて神なりいひ

杜の木ある

右重崇抄

大和月

土巨栲

岳より揚列と高柳を
武列と岩柳を
肥前給系と大柳谷を
奥列柳念と八柳を
前
つるも八柳大柳柳の太社を
同列二系柳の

信濃古録

大柳録

大柳村

大柳村

大列西

色名と大柳村

大柳

けりも

あま村

春の若ら

一丁

舟井部

大柳

の老柳

巨大

追部

柳の古

暮西晴信

軍と従て

和二年六左大史小槻宿祢清持より八人を
高里出抄

用明王皇部誓余跡雙槻日本 大槻より
地名より萬葉集 五百槻ユツキ 大槻園より五百槻
岳より揚列より高槻より武列より岩槻より肥
前崎系より大槻谷より奥列柳倉より八槻より
阿久志より八槻大槻郡の太社より同列二部程の

信濃古録ありしあり
大槻郡あり

あま郡西安をこ大槻村あり

大槻列西
部大槻
むらさき
その村系
あま村か
一丁と西の
方十丁系
情の降
るまら
とらり
巨大なる
樹の古指
より
軍より從て秋切ありこれより忠告として

加恩氏神と上上俗の稱するは任せて小名氏神
氏と大槻とを以て但馬守と叙爵す
より家累系大槻と稱し
層の中大槻氏より
後家の姓氏を名ぶる事し
中層中三層の姓の何れ
より家累系大槻と稱し
層の中大槻氏より
後家の姓氏を名ぶる事し
中層中三層の姓の何れ
より家累系大槻と稱し

○槻

亦也す今在氏は部と稱す
及近人のいふ事同し
詳し
槻の字はけ
んといふ
書字
の書

鋸齒印ト
 1/20 秋田
 人云、方言
 ツキ、世未聞
 鞞、故、杖田
 地方、テ、多
 白及、紙、版
 ト、支、棟、車
 ノ、材、ニ、ナリ
 カ、タ、シ、ト、イ、フ
 之、を、後、見
 ナ、ブ、ケ、キ
 ナ、リ、カ。

ほろろゆるき
 八世茂實は
 弓材園より
 大槻氏

東雅 卷五

榧 ツキノキ 倭名録少唐類を引て榧木ノ名
 ツキノキ 堪作弓也と注あり 我國の古は此木の
 枝をもて弓とありしツクユことツクユこと
 榧らと云ふやしと也 ツクユことツクユこと
 石祥 此木を以て弓と云ふは
 村ノ 傳のては、ものろは、あ、れ、

村井古岩の考

榧の考
 古岩の考

けとみといふは、細く、種、
 是、づ、ち、此、の、片、を、拾、遺、は、
 かつ、け、は、あ、ら、う、く、は、く、く、若、を、

ト支棟車ノ材ニナリ
カタシトイフ
之を扱ふ
ヤブヤキ
らし。

材園よりの採伐

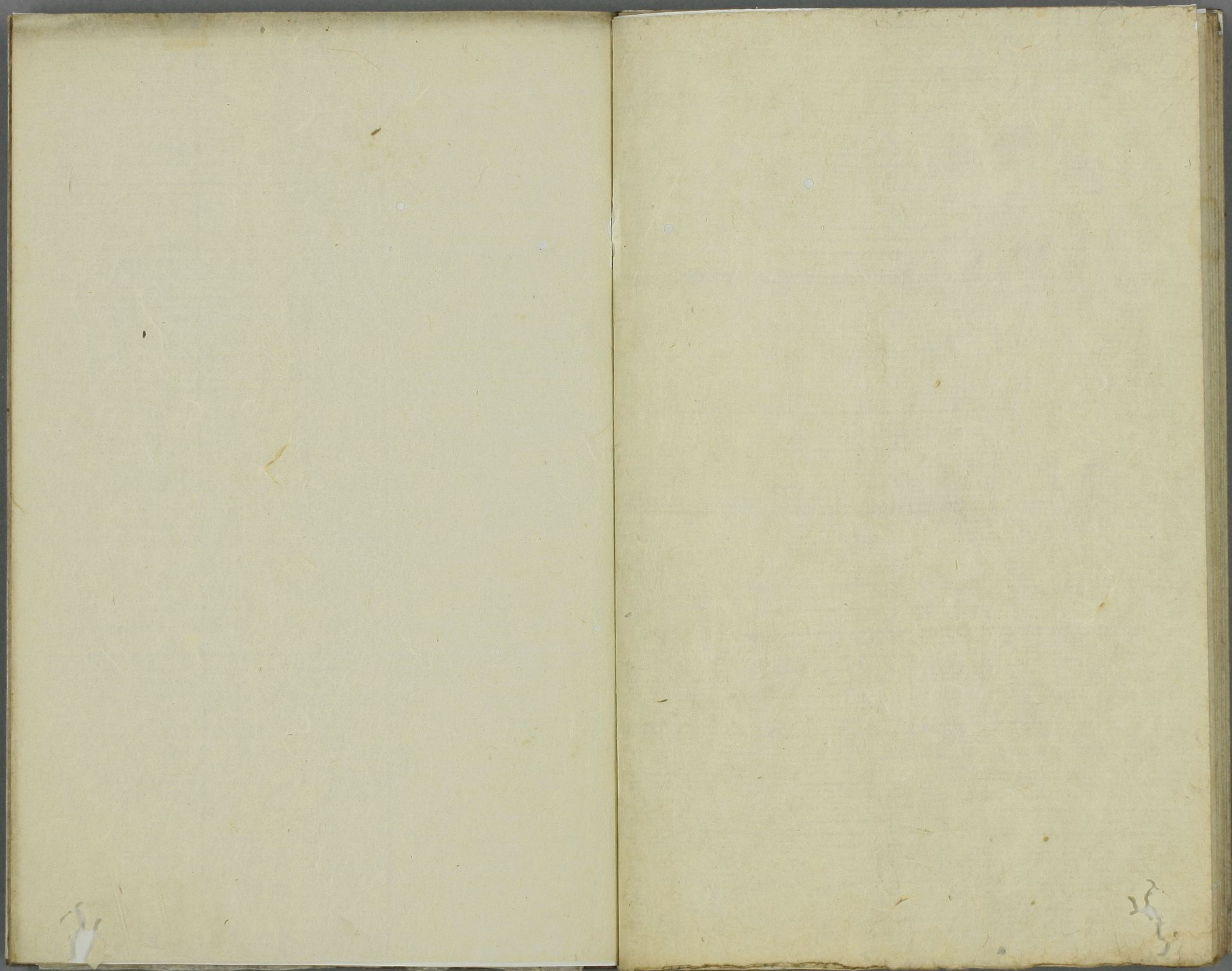
東雅 卷五

概 ツキノキ 倭名鈔云唐韻を引て概木ノ名
ツキノキ 堪作弓也と注あり 我國の古に曰此木の
材をもて弓とすといフユ事とも ツキノキと云フ
概らと云ふ者一と云也 許中と云ひ一と云ひと
云ひ 之を以て弓とすといフユ事とも
材園に在りては 概の多しと云ふ事 然極

村井 古書の考

概の多しと云ふ事 然極
蓋門の考

けと云ふこと 概の多しと云ふ事
そのうち此の片を 拾遺書に
載つたやうな 概の多しと云ふ
こと 概の多しと云ふ事



白石先生後加列小洲後唐書

の中ふ

一ツキノ木のりやうを縫ひしりるを
けるも相州の志りふのたユめしりる
はまの村をぬりしりるをぬりしりる
ゆりるも木のりやうを縫ひしりるを
しりるも木のりやうを縫ひしりるを

ケヤキ

ツキゲヤキ

ゴキゲヤキ

ゴキツキ

ムクケヤキ

本種ありしは中々ヤキは木質厚きを採りて
 時を考ふるもその東國より古く見ゆべき
 極は皆くヤキの嫩葉を採りてツキケヤキと
 申すは木質白く水に浸すにその木質を
 食すにその味は酸味ありてその嫩
 葉を採りて極く細く切りてツキケヤキと申すは木
 質薄きを採りてツキケヤキと申すは木
 質中堅のツキケヤキと申すは木質堅く
 して縣村にムクケヤキと申すは一名ムクエノキ
 と申す申すれども其の味は皆く酸味あり

本種ありしは中々ヤキは木質厚きを採りて
 時を考ふるもその東國より古く見ゆべき

極は皆くヤキの嫩葉を採りてツキケヤキと

申すは木質白く水に浸すにその木質を

食すにその味は酸味ありてその嫩

葉を採りて極く細く切りてツキケヤキと申すは木

質薄きを採りてツキケヤキと申すは木

質中堅のツキケヤキと申すは木質堅く

して縣村にムクケヤキと申すは一名ムクエノキ

と申す申すれども其の味は皆く酸味あり

本種ありしは中々ヤキは木質厚きを採りて

此の用ひしはをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは
さうをらうか一軍はよ用ひしは

南都くう二張くういものいづらうか
よのいづらうか
いづらうか

地名 大槻

岩手縣 西磐井郡 下田市
岩手縣 西磐井郡 金澤村
宮城縣 栗原郡

大槻小路
大槻

福島縣 安積郡 大槻町

福島縣 河沼郡 野澤町

大槻

栃木縣 塩谷郡 片岡村

大槻 松島

大槻

神奈川縣 中郡 秦野町
神奈川縣 中郡 大根村

上大槻
下大槻

地名 大槻

岩手縣 西磐井郡 下田市

岩手縣 西磐井郡 金澤村

宮城縣 栗原郡

福島縣 安積郡 大槻町

福島縣 河沼郡 野澤町

栃木縣 塩谷郡 片岡村

神奈川縣 中郡 秦野町

神奈川縣 中郡 大根村

大槻小路

大槻

大槻

大槻 松島

大槻

上大槻

下大槻





茶好三味 斗管 大茶 茶
茶柳三味 斗管 大茶 茶

上 大茶
斗 大茶

大茶 荷肥 大茶

松叶茶 瑞作 管 不 医 症
治 吧 斐 花 运 管 器 麻 兜

大茶

治 吧 斐 花 运 管 器 麻 兜

何 曼 琳 新 时 管

张 叶 燕 管 斗 管 斗 管 斗 管
治 吧 斐 花 运 管 器 麻 兜

大茶
大茶 六器

去 治

